



2026年4月に執行される中野市議会議員選挙に

あべ一真

かずま さんを

公認決定しました!

長野県連
中野市
政策委員

Children First

こどもファースト、中野。

現役世代に**安心**と**希望**を

現役子育て世代 一児の父

40歳

中野市竹原出身

中野は今、少子化・高齢化・若者の流出という三重苦が重なり、深刻な人口減少という危機に直面しています。このままでは、地域の暮らし—そのすべてが立ち行かなくなります。このまちの風景、空気、人のやさしさ—

どれも、私の原点です。いま、ふるさとが静かに衰えていくのを、黙って見ているわけにはいきません。これまでも、これからも—中野で生きていきたいという思いを原動力に、中野の未来にしっかりと向き合っていきます。

中野の未来を守るためには、子どもが安心して育ちまちづくりこそが最優先の課題です。そのためには、保育や教育の充実はもちろん、医療や交通、食、住まい、そして地域のつながりが欠かせません。子どもを育てたいと思えるまちには、若い世代が集まり、働く力が生まれ、地域経済が支えられます。その結果、医療や介護の体制も維持され、高齢者にとっても安心して暮らせるまちになります。

このまちの未来を、
あきらめない。



つまり、子育てしやすいまちづくりは、すべての世代の暮らしやすさにつながるのです。

また、私は看護師として19年間、命と向き合ってきました。医療や介護の現場では常に人手が足りず、支える側が疲弊し、限界に近づいています。それでも、命を支えようと懸命に働く仲間たちを私は見てきました。このままでは、支える人がいなくなり、地域の医療や福祉が成り立たなくなります。

医療・福祉の現場を知る者として、そして一人の親として、私は市民の暮らしに寄り添い、現実即した具体的な政策を提案していきます。中野を未来へつなぐために、私たちにできることは、まだまだたくさんあります。これからの子どもたちや孫の世代に、いまの課題を先送りにするのではなく、希望を引き継げるよう、今こそ行動のときです。

阿部 一真

あべ一真 プロフィール

保有資格 ▶看護師免許
▶はり師・きゅう師免許

1984年 中野市竹原に生まれる。農家の家庭に育ち、やさしい家族のもとで成長
1997年 平岡小学校(現・高社小)卒業
2000年 高社中学校卒業
2003年 須坂東高等学校卒業
2006年 佐久総合病院看護専門学校卒業、看護師免許取得(看護師歴19年)
北信総合病院にて内科・外科・小児科病棟に勤務

2013年 社会保険看護研修センター 認定看護師教育課程 糖尿病看護学科 修了
糖尿病看護認定看護師取得
地域の糖尿病予防活動や患者支援にも積極的に関わる
2023年 信州スポーツ医療福祉専門学校卒業、はり師・きゅう師免許取得
埼玉医科大学 東洋医学診療科 研究員(鍼灸師)として活動
現在、福祉施設にて看護師として勤務
2025年 大手前大学(通信)現代社会学部に入學。政治・経済・法律を学ぶ
現役学生、6歳の子を育てる一児の父
現役子育て世代として、暮らしの声を市政に届けることを決意



POLICY
01

こども支援を惜しまないまちへ

～出産から教育まで“切れ目ない支援”を本気で実現～



「命を迎える安心を」

不妊治療費の助成(交通・宿泊費)など、経済的負担の軽減

出産祝い金として100万円を支給

ミルク代・離乳食代などへの支援で、出産直後の家計をサポート



「育てる日々に寄り添う」

病児保育の拡充で、働く親を支える体制を整備

希望する保育所に入りやすい保育環境の整備

放課後児童クラブの環境改善、おやつ代無償化、昼食提供

クラブ活動支援で、学びと遊びの両立を応援

PTAは任意参加に見直し、保護者の負担を軽減

「学ぶ力を育むまち」

すべての保育園・幼稚園・小中学校にエアコン設置

熱中症対策:ウォーターサーバー・冷凍庫の設置、バス送迎の導入

不登校の子への学びの機会を保障(居場所・オンライン学習など)

学用品(体操服、靴、文房具など)の購入費補助



POLICY
02

物価高でも安心して暮らせるまちへ

～生活インフラと暮らしの支援～

▶ 子育て世帯の住まい支援

中古住宅リフォーム補助、民間賃貸への家賃補助、空き家バンクとの連携



▶ 家計応援の電子マネーポイント還元キャンペーンを実施

▶ 上下水道・ごみ処理等の公共料金の見直し

▶ 住宅、公民館へのエアコン設置の費用補助

POLICY
04

市民の声が届く、市政へ

～若い力が、まちを動かす～

▶ 議会の議論や政策決定をわかりやすく可視化・発信

▶ 市民と定期的に意見交換できるミーティングの開催

▶ 日常の悩みも相談できる市の相談窓口を整備

▶ 政治をもっと身近に感じられる情報発信を工夫

▶ 若者向けの「センキョ割」など、投票を促す活動支援



POLICY
03

ともに支える、いのちの現場

～医療・介護・保育の担い手を守る～

▶ 市と医療・福祉現場が連携して人材確保に取り組む

▶ 奨学金返還支援や、地元就職報奨金の創設

▶ 医療・介護・保育従事者への市独自の処遇改善制度

▶ 靴代などの消耗品購入費の補助

▶ 通勤用駐車場代を全額補助

▶ 地域の福祉施設・医療機関の安定運営を支援

POLICY
05

中野の農業を次世代へ

～地域の食と未来を守る～

▶ 若手就農者が定着しやすい環境(住まい・機械・研修など)を一体的に支援

▶ 農業インターン制度やマッチング制度で「始めやすく・続けやすく」

▶ 肥料・資材高騰への支援で営農継続を下支え

▶ 学校給食や観光・ふるさと納税と連携し、地産地消の循環型農業を推進

